

研究構想シート		学校名	隠岐の島町立西郷南中学校
		氏名	山田 慎也
A 研究主題	視野を広げ、自分のあり方、生き方を考える生徒の育成 ～キャリア教育を中核に添えて～		
B 研究の目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域の大人と共に活動する中で、勤労観、職業観を正しく持ち、よりよい生き方を求めて実行する力を育成する 3年時に目的のある進路選択ができるとともに、達成に向け自身で学習する力を身につける 		
C 子どもの実態	E 手立て・内容（研究仮説）	D めざす子どもの姿	
	<ul style="list-style-type: none"> キャリアプランニング能力の育成に重点を置いた「総合的な学習の時間」を充実させることで、勤労観、職業観を正しく持つことができ、よりよい生き方を考える機会とすることができる。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の夢や目標がはっきりすることにより、学習面でも粘り強さを発揮し、学力も向上していくはずである 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の個性を理解し、将来の夢や目標に向け、自主的に計画的に努力を継続する力を身につける 育定的自己理解を深め、勤労観、職業観を正しく持った上で、自らの進路計画を立てることができる
	F 検証方法	<ul style="list-style-type: none"> 3年時に目的のある進路選択ができるとともに、達成に向け自身で学習する力を身につける 	
<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた態度で学習することができ、話し合い活動も活発にできる生徒が多い 様々な行事や部活動などでは、他者と協力しながら粘り強く取り組むことができる ふるさとである隠岐の島を愛し、地域行事にも積極的に参加する生徒が多い 持っている粘り強さを学習面にいかすことができず、学年が上がるにつれ学力が下がる傾向がある 進路選択は島内の高校選択になっており、将来の夢や目標から逆算した進路選択を行えている生徒が少ない 		<ul style="list-style-type: none"> 生徒へのアンケート（自分のキャリアに関すること、学習への意欲、時間など） 学力調査（県や校内で行うテスト）で変容を見ていく 	
G 研究計画		<ul style="list-style-type: none"> 各学年ごとに、地域の大人とかわる活動を通して勤労観、職業観を身につけていく。3年時には中学生の力でふるさとに貢献する活動を考え、実践することで、より社会とのつながりを意識した進路選択ができるよう指導する。 <p>活動例 1年 (ジョブフェアおよび職業体験・見学) 2年 (職場体験学習、地域の課題探し) 3年 (地域への貢献活動 ～2年時に感じた地域の課題を解決するための活動～)</p>	